

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信 託 期 間	無期限（設定日：2023年6月8日）	
運 用 方 針	SBI・V・米国小型株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国の小型株式市場のパフォーマンスを示す株価指数であるCRSP・US・スモールキャップ・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	SBI・V・米国小型株式インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
組 入 制 限	当ファンド（ベビーファンド）	投資信託証券（マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
	マザーファンド	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分 配 方 針	年1回（毎年6月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託者の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

運用報告書（全体版）

第3期

（決算日：2026年6月10日）

SBI・V・米国小型株式 インデックス・ファンド （愛称：SBI・V・米国小型株式）

追加型投信／海外／株式／インデックス型

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「SBI・V・米国小型株式インデックス・ファンド（愛称：SBI・V・米国小型株式）」は、2026年6月10日に第3期決算を行いました。
ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1－6－1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。
<https://www.sbiasset.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			ベンチマーク		投資信託証券 組 入 比 率	純資産 総 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率		期 中 騰落率		
(設 定 日)	円	円	%		%	%	百万円
2023年6月8日	10,000	—	—	10,000	—	—	56
1期(2024年6月10日)	12,689	0	26.9	12,785	27.8	98.4	739
2期(2025年6月10日)	12,695	0	0.0	12,829	0.4	98.2	848
3期(2026年6月10日)	17,645	0	39.0	17,979	40.1	98.8	1,132

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。
(注3) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注5) ベンチマークはCRSP・US・スモールキャップ・インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
(注6) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
(注7) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ベンチマーク		投資信託証券 組 入 比 率
		騰 落 率		騰 落 率	
(期 首)	円	%		%	%
2025年6月10日	12,695	—	12,829	—	98.2
6月末	12,898	1.6	13,041	1.6	98.1
7月末	13,706	8.0	13,866	8.1	98.1
8月末	13,995	10.2	14,172	10.5	97.9
9月末	14,248	12.2	14,440	12.6	97.8
10月末	14,681	15.6	14,888	16.0	98.1
11月末	15,165	19.5	15,374	19.8	98.7
12月末	15,436	21.6	15,683	22.2	98.4
2026年1月末	15,793	24.4	16,053	25.1	98.3
2月末	16,429	29.4	16,705	30.2	98.4
3月末	15,357	21.0	15,605	21.6	97.9
4月末	16,915	33.2	17,216	34.2	98.4
5月末	17,688	39.3	18,013	40.4	98.7
(期 末)					
2026年6月10日	17,645	39.0	17,979	40.1	98.8

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注3) ベンチマークはCRSP・US・スモールキャップ・インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
(注4) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
(注5) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

ベンチマーク：CRSP・US・スモールキャップ・インデックス（配当込み、円換算ベース）
CRSP・US・スモールキャップ・インデックス（配当込み）とは、米国株式市場において時価総額が下位2%～15%に位置する投資可能な企業の株式のパフォーマンスを示す時価総額加重平均型の株価指数です。なお、CRSP・US・スモールキャップ・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、CRSP・US・スモールキャップ・インデックス（配当込み）をもとに、委託会社が円換算したものです。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2025年6月11日から2026年6月10日まで）

○基準価額等の推移



（注1）ベンチマークは、CRSP・US・スモールキャップ・インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。詳細はP1をご参照ください。

（注2）ベンチマークは、期首（2025年6月10日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

（注3）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

（注4）ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・米消費者物価指数（CPI）の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待
- ・米国景気の軟着陸への期待
- ・人工知能（AI）関連の半導体需要増への期待によるハイテク株高

下落要因

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）のタカ派的姿勢
- ・景気後退懸念の高まり
- ・トランプ政権の関税政策による不確実性の高まり
- ・対円で米ドルが下落したこと

○投資環境

<米国株式市場>

当期、米国株式市場を代表するS&P500種指数は上昇しました。期初はFRB議長交代発言を受けての利下げ観測が浮上したことから、大型ハイテク株を中心に上昇しました。その後2025年8月の初旬に雇用統計の発表を受けて景気後退懸念が広がり、米株価が下落する局面がありましたが、8月後半のジャクソンホール講演でパウエル議長がタカ派姿勢を後退させたことで利下げ期待から上昇しました。9月米連邦公開市場委員会(FOMC)では利下げが決定され、以降2026年2月中旬までは米景気のソフトランディング期待が高まり上昇基調で推移しました。2月末の米国によるイランへの軍事行動開始を受けて急落しました。4月は米・イランの協議への期待が強まったことや堅調な米企業業績が好感され反転しました。その後も和平交渉の進展期待の継続や長期金利が低下したことで上昇し、期末を迎えました。

<外国為替市場>

当期、米ドル円相場は期を通じて、円安水準となりました。期初は144円近辺での水準で始まり、緩やかに円安傾向となり2025年10月上旬までは概ね140円台近での推移となりました。以降は、米国におけるインフレの粘着性や金融緩和に対する慎重な見方を背景にドル買いが優勢となり、2026年1月にかけては一時159円近辺まで上昇しました。その後、米景気減速懸念や金利低下期待などを背景にドル売りが強まり、1月下旬から2月中旬にかけては一時152円台まで円高が進む局面も見られました。

しかしながら、2月下旬以降は米国の底堅い経済指標やインフレ懸念の再燃を受けてドル買いが再び優勢となり、米ドル円相場は上昇基調に転じました。3月以降は158～160円を中心としたレンジで推移し、一時的に振れを伴いながらも高値圏でのみ合いとなりました。

○当ファンドのポートフォリオ

<当ファンド>

主要投資対象であるSBI・V・米国小型株式インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

<SBI・V・米国小型株式インデックス・マザーファンド>

米国の小型株式市場の動きを捉えることをめざすCRSP・US・スモールキャップ・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ザ・バンガード・グループ・インクが運用を行う「バンガード・スモールキャップ ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

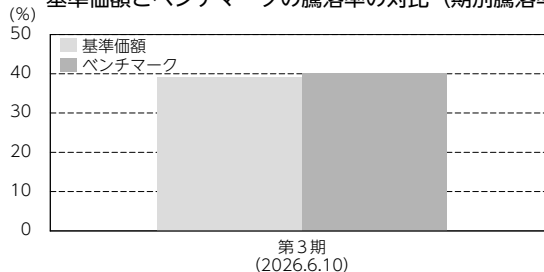
なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は98.7%となっております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

期中における基準価額は+39.0%となり、ベンチマークである「CRSP・US・スモールキャップ・インデックス（配当込み、円換算ベース）」の騰落率である+40.1%を概ね1.1%下回りました。

主な要因としては、投資先ETFとインデックスに対するトラッキングエラー（パフォーマンスの乖離）、ファンドとベンチマークにおいて適用される配当税率の差異、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジションの差異などの要因があげられます。

基準価額とベンチマークの騰落率の対比（期別騰落率）



(注) ベンチマークはCRSP・US・スモールキャップ・インデックス（配当込み、円換算ベース）です。詳細はP1を参照ください。

○分配金

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。
なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 3 期
	2025年 6 月 11 日～ 2026年 6 月 10 日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,645

(注 1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注 2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き、主要投資対象である『SBI・V・米国小型株式インデックス・マザーファンド』を高位に組入れます。

<SBI・V・米国小型株式インデックス・マザーファンド>

引き続き、「バンガード・スモールキャップ ETF」を主要投資対象とし、米国の小型株式市場のパフォーマンスを示す株価指数であるCRSP・US・スモールキャップ・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 6 月11日～2026年 6 月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	10 (4) (4) (2)	0.064 (0.024) (0.024) (0.015)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に 支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に 関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷)	17 (4) (5) (7)	0.110 (0.027) (0.035) (0.048)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	27	0.174	
期中の平均基準価額は、15,192円です。			

(注 1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注 2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注 3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

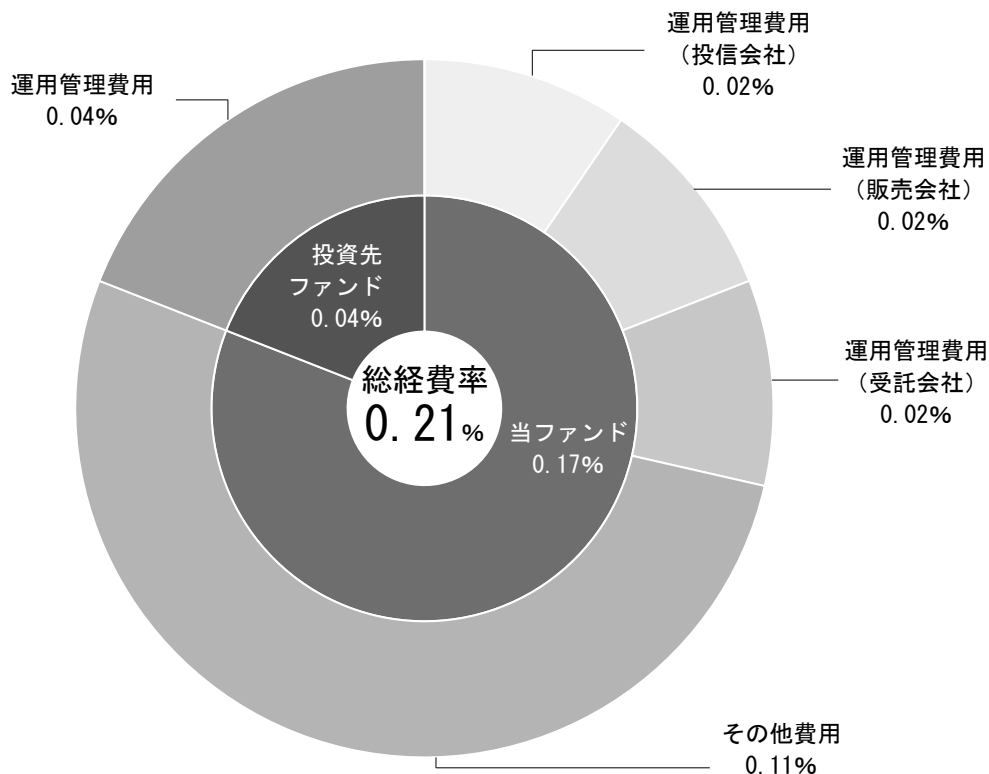
(注 4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注 5) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率(年率)**は**0.21%**です。



総経費率 (①+②)	0.21%
①当ファンドの費用の比率	0.17%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.04%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年6月11日～2026年6月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
S B I ・ V ・ 米国小型株式インデックス・マザーファンド	千口	千円	千口	千円
	201, 521	310, 160	229, 186	331, 910

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年6月11日～2026年6月10日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年6月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄 名	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
S B I ・ V ・ 米国小型株式インデックス・マザーファンド	千口	千口	千円
	666, 922	639, 256	1, 132, 635

(注) 単位未満は切捨て。

マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2026年 6月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
S B I ・ V ・ 米 国 小 型 株 式 イ ン デ ッ ク ス ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	1, 132, 635	100. 0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	525	0. 0
投 資 信 託 財 産 総 額	1, 133, 160	100. 0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) S B I ・ V ・ 米 国 小 型 株 式 イ ン デ ッ ク ス ・ マ ザ ー フ ァ ン ド において、当期末における外貨建て純資産（1, 118, 437千円）の投資信託財産総額（1, 139, 011千円）に対する比率は98. 2%です。
(注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、6月10日における円換算レートは、1ドル＝160. 45円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年 6月10日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	1, 133, 160, 707円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	15, 406
S B I ・ V ・ 米 国 小 型 株 式 イ ン デ ッ ク ス ・ マ ザ ー フ ァ ン ド (評 価 額)	1, 132, 635, 301
未 収 入 金	510, 000
(B)負 債	1, 141, 918
未 払 解 約 金	496, 595
未 払 信 託 報 酬	320, 988
そ の 他 未 払 費 用	324, 335
(C)純 資 産 総 額 (A - B)	1, 132, 018, 789
元 本	641, 546, 606
次 期 繰 越 損 益 金	490, 472, 183
(D)受 益 権 総 口 数	641, 546, 606口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	17, 645円

< 注記事項（運用報告書作成時には監査未了） >
(貸借対照表関係)
期首元本額 668, 314, 765円
期中追加設定元本額 202, 291, 232円
期中一部解約元本額 229, 059, 391円

○損益の状況 (2025年 6月11日～2026年 6月10日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	3円
受 取 利 息	3
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	269, 172, 687
売 買 益 損	304, 200, 255
売 買 損	△ 35, 027, 568
(C)信 託 報 酬 等	△ 1, 365, 630
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	267, 807, 060
(E)前 期 繰 越 損 益 金	792, 331
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	221, 872, 792
(配 当 等 相 当 額)	(66, 324, 623)
(売 買 損 益 相 当 額)	(155, 548, 169)
(G)計 (D + E + F)	490, 472, 183
(H)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	490, 472, 183
追 加 信 託 差 損 益 金	221, 872, 792
(配 当 等 相 当 額)	(66, 617, 484)
(売 買 損 益 相 当 額)	(155, 255, 308)
分 配 準 備 積 立 金	268, 599, 391

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(11, 104, 418円)、費用控除後の有価証券等損益額(231, 253, 337円)、信託約款に規定する収益調整金(221, 872, 792円)および分配準備積立金(26, 241, 636円)より分配対象収益は490, 472, 183円(10, 000口当たり7, 645円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○お知らせ

2026年7月27日付けで、ベンチマークと組入ETFの名称が以下の通り変更となります。

- ・ベンチマークの名称：Morningstar US スモールキャップ TR USD（円換算ベース）
- ・組入ETFの名称：バンガード・モーニングスター・スモールキャップ ETF

第 3 期 運用報告書

(決算日 2026年 6 月10日)

SBI・V・米国小型株式インデックス・マザーファンド

受益者のみなさまへ

SBI・V・米国小型株式インデックス・マザーファンドの第3期（2025年6月11日から2026年6月10日まで）の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは、次の通りです。

運 用 方 針	米国の小型株式市場の動きを捉えることをめざすCRSP・US・スモールキャップ・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行います。
主 要 投 資 対 象	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
組 入 制 限	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 デリバティブの直接利用は行いません。 外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		ベンチマーク		投資信託証券 組 入 比 率	純資産 総 額
		期 中 騰落率		期 中 騰落率		
(設 定 日) 2023年 6 月 8 日	円 10,000	% —		% —	% —	百万円 56
1 期(2024年 6 月10日)	12,704	27.0	12,785	27.8	98.3	740
2 期(2025年 6 月10日)	12,730	0.2	12,829	0.4	98.2	848
3 期(2026年 6 月10日)	17,718	39.2	17,979	40.1	98.7	1,132

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。
(注3) ベンチマークはCRSP・US・スモールキャップ・インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
(注4) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

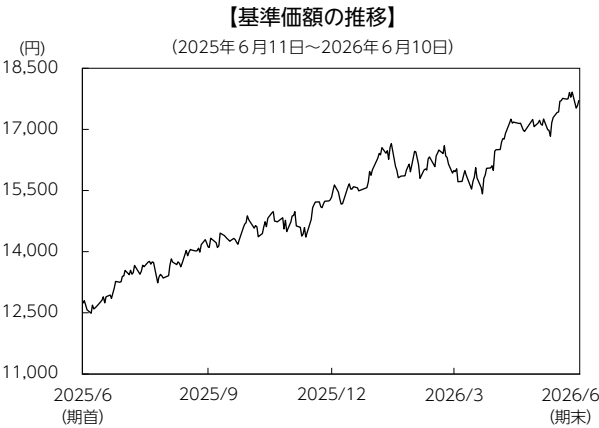
年 月 日	基 準 価 額		ベンチマーク		投資信託証券 組 入 比 率
		騰 落 率		騰 落 率	
(期 首) 2025年 6 月10日	円 12,730	% —		% —	% 98.2
6 月末	12,935	1.6	13,041	1.6	98.1
7 月末	13,747	8.0	13,866	8.1	98.1
8 月末	14,039	10.3	14,172	10.5	97.8
9 月末	14,295	12.3	14,440	12.6	97.8
10月末	14,731	15.7	14,888	16.0	98.0
11月末	15,218	19.5	15,374	19.8	98.7
12月末	15,492	21.7	15,683	22.2	98.3
2026年 1 月末	15,852	24.5	16,053	25.1	98.3
2 月末	16,492	29.6	16,705	30.2	98.4
3 月末	15,418	21.1	15,605	21.6	97.9
4 月末	16,983	33.4	17,216	34.2	98.3
5 月末	17,760	39.5	18,013	40.4	98.6
(期 末) 2026年 6 月10日	17,718	39.2	17,979	40.1	98.7

(注1) 騰落率は期首比です。
(注2) ベンチマークはCRSP・US・スモールキャップ・インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
(注3) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

ベンチマーク：CRSP・US・スモールキャップ・インデックス（配当込み）
CRSP・US・スモールキャップ・インデックス（配当込み）とは、米国株式市場において時価総額が下位2％～15％に位置する投資可能な企業の株式のパフォーマンスを示す時価総額加重平均型の株価指数です。
なお、CRSP・US・スモールキャップ・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、CRSP・US・スモールキャップ・インデックス（配当込み）をもとに、委託会社が円換算したものです。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2025年6月11日から2026年6月10日まで）

○基準価額等の推移



当マザーファンドの基準価額は期首12,730円から始まったあと、期末には17,718円となりました。期を通じて騰落率は+39.2%となりました。

	期首	期中高値	期中安値	期末
日付	2025/6/10	2026/6/5	2025/6/16	2026/6/10
基準価額（円）	12,730	17,915	12,489	17,718

○投資環境

<米国株式市場>

当期、米国株式市場を代表するS&P500種指数は上昇しました。期初はFRB議長交代発言を受けての利下げ観測が浮上したことから、大型ハイテク株を中心に上昇しました。その後2025年8月の初旬に雇用統計の発表を受けて景気後退懸念が広がり、米株価が下落する局面がありました。8月後半のジャクソンホール講演でパウエル議長がタカ派姿勢を後退させたことで利下げ期待から上昇しました。9月米連邦公開市場委員会(FOMC)では利下げが決定され、以降2026年2月中旬までは米景気のソフトランディング期待が高まり上昇基調で推移しました。2月末の米国によるイランへの軍事行動開始を受けて急落しました。4月は米・イランの協議への期待が強まったことや堅調な米企業業績が好感され反転しました。その後も和平交渉の進展期待の継続や長期金利が低下したことで上昇し、期末を迎えました。

<外国為替市場>

当期、米ドル円相場は期を通じて、円安水準となりました。期初は144円近辺での水準で始まり、緩やかに円安傾向となり2025年10月上旬までは概ね140円台近での推移となりました。以降は、米国におけるインフレの粘着性や金融緩和に対する慎重な見方を背景にドル買いが優勢となり、2026年1月にかけては一時159円近辺まで上昇しました。その後、米景気減速懸念や金利低下期待などを背景にドル売りが強まり、1月下旬から2月中旬にかけては一時152円台まで円高が進む局面も見られました。

しかしながら、2月下旬以降は米国の底堅い経済指標やインフレ懸念の再燃を受けてドル買いが再び優勢となり、米ドル円相場は上昇基調に転じました。3月以降は158～160円を中心としたレンジで推移し、一時的に振れを伴いながらも高値圏でのみ合いとなりました。

○当ファンドのポートフォリオ

米国の小型株式市場の動きを捉えることをめざすCRSP・US・スモールキャップ・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ザ・バンガード・グループ・インクが運用を行う「バンガード・スモールキャップ ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は98.7%となっております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

期中における基準価額は+39.2%となり、ベンチマークである「CRSP・US・スモールキャップ・インデックス（配当込み、円換算ベース）」の騰落率である+40.1%を概ね0.9%下回りました。

主な要因としては、投資先ETFとインデックスに対するトラッキングエラー（パフォーマンスの乖離）、ファンドとベンチマークにおいて適用される配当税率の差異、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジションの差異などの要因があげられます。

○今後の運用方針

引き続き、「バンガード・スモールキャップ ETF」を主要投資対象とし、米国の小型株式市場のパフォーマンスを示す株価指数であるCRSP・US・スモールキャップ・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 6 月11日～2026年 6 月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料	円 —	% —	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税	—	—	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	4 (4)	0.027 (0.027)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	4	0.027	
期中の平均基準価額は、15,246円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2025年 6 月11日～2026年 6 月10日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	口	千ドル	口	千ドル
	VANGUARD SMALL-CAP ETF	3,095	836	3,820	947
	小 計	3,095	836	3,820	947

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年 6 月11日～2026年 6 月10日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年 6 月10日現在)

外国投資信託証券						
銘 柄 名		期首(前期末)	当 期 末			
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	円換算金額	
(アメリカ)		口	口	千ドル	千円	%
VANGUARD SMALL-CAP ETF		24,644	23,919	6,969	1,118,182	98.7
合 計	口 数 ・ 金 額	24,644	23,919	6,969	1,118,182	98.7
	銘柄数 < 比率 >	1	1	—	< 98.7% >	

(注 1) 円換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。
(注 2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。
(注 3) 評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2026年 6 月10日現在)

項 目	当 期 末
	評 価 額 比 率
	千円 %
投 資 信 託 受 益 証 券	1,118,182 98.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	20,829 1.8
投 資 信 託 財 産 総 額	1,139,011 100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 当期末における外貨建て純資産 (1,118,437千円) の投資信託財産総額 (1,139,011千円) に対する比率は98.2%です。
(注 3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、6月10日における円換算レートは、1ドル=160.45円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年6月10日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	1,139,011,216円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	20,828,532
投資信託受益証券(評価額)	1,118,182,442
未 収 利 息	242
(B)負 債	6,360,488
未 払 金	5,850,488
未 払 解 約 金	510,000
(C)純 資 産 総 額(A－B)	1,132,650,728
元 本	639,256,858
次 期 繰 越 損 益 金	493,393,870
(D)受 益 権 総 口 数	639,256,858口
1万口当たり基準価額(C／D)	17,718円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>

(貸借対照表関係)

期首元本額	666,922,092円
期中追加設定元本額	201,521,099円
期中一部解約元本額	229,186,333円
期末における元本の内訳	
S B I ・ V ・ 米 国 小 型 株 式 イ ン デ ッ ク ス ・ フ ァ ン ド	639,256,858円

○損益の状況 (2025年6月11日～2026年6月10日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	11,567,566円
受 取 配 当 金	11,440,988
受 取 利 息	126,578
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	294,113,500
売 買 益	294,317,820
売 買 損	△ 204,320
(C)そ の 他 費 用	△ 250,848
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	305,430,218
(E)前 期 繰 越 損 益 金	182,048,418
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	108,638,901
(G)解 約 差 損 益 金	△102,723,667
(H) 計 (D + E + F + G)	493,393,870
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	493,393,870

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

＜ご参考＞組入投資信託証券の概要

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
バンガード・ スモールキャップ ETF	米国の小型株式	CRSP・US・スモールキャップ・ インデックス	0.03%	ザ・バンガード・グループ・インク

組入上位10銘柄	比率
EMCOR Group Inc.	0.5%
NRG Energy Inc.	0.4%
Atmos Energy Corp.	0.4%
Tapestry Inc.	0.4%
TechnipFMC plc	0.4%
Ciena Corp.	0.4%
Casey's General Stores Inc.	0.4%
Jabil Inc.	0.4%
Natera Inc.	0.4%
Expand Energy Corp.	0.4%

組入上位10業種	比率
資本財・サービス	22.6%
一般消費財・サービス	13.0%
金融	12.8%
テクノロジー	12.5%
ヘルスケア	11.8%
不動産	7.2%
エネルギー	5.4%
素材	5.0%
公益事業	3.8%
生活必需品	3.6%

出所：ザ・バンガード・グループ・インクの資料を基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2026年3月31日時点の比率です。

上記組入投資信託証券は第3期期末時点で取得可能なデータを記載しており、将来変更される場合があります。